

令和5年度学校評価報告書

令和6年3月 25 日

北海道美唄尚栄高等学校長

1 本年度の重点目標

- (1) 生徒の社会人基礎力の醸成
- (2) 生徒の学習意欲の向上を目的とした授業改善
- (3) 保護者・地域との連携・協働及び積極的な情報発信

2 自己評価結果・学校関係者評価結果と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校教育目標 重点目標	「生徒の満足度」については生徒・保護者共に高い評価を得ることができている。総合学科である本校の特色を生かした教育活動の推進に努めるとともに、地域と連携した取組や、地域の方々に対する本校の特色の理解をさらに進めるような取組が求められる。	管内唯一の総合学科の高校として、果たす役割は地域にとって非常に重要であり、今後も見守っていききたい。 保護者が学校に求めるものは年々大きくなってきていると思われるが、職員の努力に大変期待している。
改善方策	高校生活の満足度について、生徒や保護者から高い評価を得ていることから、本校の教育活動や取組が評価されてきていると判断できる。地域から信頼される学校づくりをさらに推進するため、学校の教育活動の場を広げ、地域の教育資源の活用や、地域の諸団体等との連携を推進するとともに、本校の魅力についての発信をより充実させ、保護者や中学校へ向けた学校説明会の充実、学校祭や課題研究発表会等の参加を促し、地域の方々の来校の機会を増やすことにより本校への理解をより深めることが必要である。	
経営管理 校内組織	教職員は、働き方改革の推進に取り組む、仕事の効率化が進むよう、協働体制を構築している。また、校内研修などにより、意欲的に学校改善に取り組んでいる。校内の施設・設備は生徒の教育活動をサポートしていく上で必要であり、計画的に整備を実施していく。	引き続き、職員間のコミュニケーションを密にし、学校改善を進めてほしい。ミドルリーダーを育成し、持続可能な学校づくりを進めてほしい。 校内の施設・設備を有効に活用し、さまざまな教育活動を推進してほしい。
改善方策	校内体制において今後も、教職員の資質・能力を高めるための研修など推進し、より一層校内体制の連携強化を図る必要がある。	
学習指導	教職員は生徒の実態を把握し、教材研究に取り組み、授業の質の向上に励んでいる。今後、教師の指導力向上を図るため、研修への参加を促進するとともに、ICTの活用や探究的な学びの推進による、より一層の授業改善が必要と考える。	生徒の評価が高いことは、教員が生徒の状況に応じて、工夫した授業を展開していることによるものと思われる。 ICTをより効果的に活用できるよう、教員の資質・能力の向上を期待する。
改善方策	教職員の「授業」に対する評価を今以上に高めるために、学ぶ喜びを感じさせ達成感のある授業づくりを推進する。また、授業に生かす観点別学習状況の評価についてさらに研究を進め、授業改善を図る。	

生徒指導	教職員の「生徒理解」「生徒指導」「いじめ対応」を日常的に実施している。また、教育相談週間や生徒の情報交換を定期的に行った結果、教育相談・特別支援委員会を通じて担任をサポートし組織的に対応するシステムが確立された。	生徒は落ち着いて学校生活を送ることができているようであるが、いじめ対応については組織的な対応により、保護者と連携し、迅速かつ丁寧な対応に努めてほしい。
改善方策	教職員は、教育相談週間や生徒情報交流会を設け、生徒を理解することに努めた。今後も年次を中心に丁寧な面談を心掛けるとともに、教育相談委員会や特別支援委員会を機能させ生徒理解に努める必要がある。また、生徒・保護者の理解を得られるようあらゆる機会を通じて学校の取り組みを丁寧に説明する必要がある。	
進路指導	生徒は本校のキャリア教育によって、自分の将来について考えたり、職業観を深めたりして、進路を実現している。このことは、教職員のキャリア教育に対する更なる理解と指導法の研究が進んだ結果だと考える。	市内、管内、道内企業への卒業生の就職率は安定している。このことは、地域の要望であることを理解し、地域から必要とされる人材の育成を進めた成果である。 四年制大学への進学についても一定の実績を上げることが生徒募集にもつながる。
改善方策	教職員は、総合学科におけるキャリア教育と進路指導を総合的・体系的に展開するため、指導方法等をさらに研究するとともに、地域と連携して進めていく必要がある。また、上級学校への進学希望者も最終的には就職することを理解し、学校全体で地域社会に根ざしたキャリア教育に取り組むことを進める。	
地域との連携	コロナ禍の影響で地域と連携してきた取組が分断されてしまったことから、再び地域保護者と連携した取組を構築し直す必要がある。保護者が学校に足を運びたくなるような仕掛け作りや、工夫を凝らし、地域の人との対話を増やし交流の場を設けるなど、距離感を一層縮めていくことが必要と考える。	コロナ禍で分断された地域・保護者との連携を取り戻すため、保護者のみならず、地域の方々に本校の魅力を知っていただけるような機会を設けることが必要だと考える。 地域に目を向け、関係機関と協働して探究学習を進めることは生徒のみならず、地域にとっても有益である
改善方策	探究学習等において、地域の関係機関等と連携し、子どもたちの目を地域に向けられるような教育活動を推進する。学校 Web ページを含め、今後も情報発信の更なる充実を目指す。保護者や地域住民が参加・見学できるような活動の実施について検討する。	
公開方法	自己評価と学校関係者評価の評価項目・評価結果を学校ホームページに掲載する。	